

「資産運用コンサルティングのポイント Vol3 ～資産全体のバランスを考えるために… 各金融商品の特徴などのまとめ 前篇～」



株式会社 ZUU の富田和成です。一概に資産運用といっても、もし偏った投資を行えば万が一の際のリスクは高まっていく一方です。そこで、今回は資産全体のバランスを考える上で理解が必要な様々な金融商品について解説をしていきたいと思ひます。

最近、アベノミクスの影響で、株式相場や不動産の市場が上昇傾向にあることや、NISA(小額投資非課税制度)が登場したりと、投資に関心を寄せている人は多いのではないのでしょうか。

今回は、代表的な投資(債券・銀行預金・株式投資・賃貸経営)のキャピタルとインカム、そして特徴についてみていきたいと思ひます。

○投資のリスクとリターンについて

投資を行う際には、リスクとリターンの関係を知っておく必要があります。

一般的にリスクが高いものは、リターンも高く(ハイリスクハイリターン)であり、リスクが低いものは、リターンも低い(ローリスクローリターン)であるといわれています。

また金融商品の性格は3種類に分けることができます。

- ・流動性: 普通預金のように、必要なときにお金を引き出すことができる。
- ・安全性: 債券のように、国債などの実質的に元本が保証されている。
- ・収益性: 株式のように、より高い収益が期待できる。しかし不動産のように居住目的なら安全資産だが、賃貸投資目的なら収益性資産と、商品によっては2つの側面を持つものもある。

○債券のインカム・キャピタルと特徴

債券とは、国、地方公共団体、民間企業が、投資家から資金を借入れ、その代わりに発行する借用証書のことです。債券のインカムとは、利子であり、キャピタルとは、債券の金額の値上がりや値下がりによる利益ないし損失のことをいいます。

特徴として、元本が保証されており、利子が支払われることだ。しかし、満期日前で売却すると価格変動リスクの可能性のあることには注意が必要です。

債券のインカムである利子は満期日まで金利変動にかかわらず支払われる。債券のキャピタルは償還差益や途中で売却することによる利益のことです。債権のキャピタルの要因になる債券価格は、一般的に市場金利が上がると債券の価格は下がり、市場金利が下がると債券の価格は上がることとなります。市場の金利と反対の動きをしています。債券にはリスクがありますが、満期まで保有するのであれば、元本も保証され、確実な利子収入も得ることができる商品です。

○銀行預金のインカム・キャピタルと特徴

銀行預金のインカムは、債券と同じく利子で、キャピタルは債券と違い、価格変動のリスクはないため、ほぼないのが実際です。

その銀行預金の特徴は元本割れすることはない安全性です。現在、日本は低金利であるため期待できないですが、定期預金は固定金利と変動金利の2つがあり、一般的に、高金利局面、金利低下局面では、固定金利商品が有利といわれ、低金利局面と金利上昇局面では、変動金利商品が有利といわれています。しかし注意点として、定期預金などを途中解約する場合、ペナルティとして金利が下がることはあります。

今回はリスク・リターンの考え方と債券や銀行預金について見てきました。次回は、その他の金融商品に焦点を当てて解説をしていきたいと思えます。

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社 ZUU 代表取締役社長兼 CEO

http://zuu.co.jp/company/ceo_message

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在とビジネススクールへの留学やタイへの駐在を経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。その後、野村証券を退職し、富裕層・準富裕層向けに金融を切り口とした ZUU online や不動産を切り口とした不動産 online を運営する株式会社 ZUU を設立。また、エグゼクティブ向け資産アドバイザーの検索・比較サイト ZUU Advisors を運営している。」

参考：ZUU Advisors：<http://zuuadvisors.com/>

：ZUU online：<http://zuuonline.com/>



◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP 実務研究会事務局では、FP 実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP 実務研究会事務局【(株)日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488